

平成 29 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	史跡、民話、里山環境整備と交流事業		
事業主体 (連絡先)	NPO 法人祭り街道の里ドリーム新野 (下伊那郡阿南町新野 524 電話 0260-24-2574)		
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業	教育文化の振興に関する事業	
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	1,384,062	円 (うち支援金 :	922,000 円)

事業内容

今から 500 年～600 年前にこの地を治めていた伊勢平氏の流れをくむ関氏の十九庵の跡地には当時植えた大銀杏が残っており、訪れる人たちや地域のことを学習する子供たちにも語り継がれていけるように、関氏の初代、2代、3代の由来を記した 2 基の石碑を建設。

合わせて、昨年建設した新野の民話 (同じ時代) イボ薬師様、永正庵物語を小冊子で発行し、地域の子供達や訪問者へ配布し、説明を実施。

また、チラシも作成し、町内外の道の駅で配布をし、広く周知をした。



【十九庵の石碑の建設】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

阿南町内小中学校 (先生を含む) へ民話冊子各 350 冊を配布したことで、阿南第二中学校と新野小学校では、校長先生の講話でお話をさせていただく等、小中学校でも活用された。阿南町保育園年長組の秋の遠足では、昨年設置したイボ薬師様、永正庵物語の石像にも訪れ、冊子を活用する等、郷土学習に繋がっている。

また、石碑を設置したことで、一般の方が約 200 人、伊那史会と下伊那地名の会新野探訪の方 40 人等多くの人に訪れていただき、現地での説明を実施。阿南町の史跡や民俗芸能を広く周知することができた。

チラシは新城、稲武どんぐり、平谷、下条、新野千石平等の道の駅や信州アトムで配布し、広域的に阿南町を PR することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

訪れた人たちがこの地域にこんなお話があったのかと喜んでもらえる里山づくり。地域を案内、そこにまつわるお話、ソフトが大切で案内できる会員づくりも大切で仲間作りも考えていかなければならない。地域の良さをハード面、ソフト面で充実したい。

【目標・ねらい】

- ① 史跡や民話通して当時を知る
- ② 当時の人たちの感性創造力を知る
- ③ 特色ある地域づくりから交流拡大に地投げる
- ④ 自然の豊かさ、新鮮を生み出す地域をアピール

※自己評価 【 C 】

【理由】

予定していた効果が得られたが自己資金の調達が難しい継続事業にして社会資本整備、地域づくりとしたいが地権者の理解が今後わからない

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある